

第76号 メールマガジン 水土里

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

県庁

【研修】農業土木技術者研修（初任者研修）を実施！

7月23日（水）、24日（木）の2日間、農業土木技術者研修（初任者研修）（前期）を行いました。

採用1年目の県職員10名と新任の市町及び土地改良事業団体連合会、土地改良区職員14名が参加しました。

この研修は、農業土木職員として必要な農業農村整備事業に関する基礎的知識を学ぶとともに、農業・農村施策を総合的に実行し、時代のニーズに応えられる農村振興技術者を育成することを目的としたものです。

1日目は、県庁の会議室で、農地局職員が講師となり、農業農村整備事業に関する基礎的知識について学びました。

講義では、みんなで輪になりながら農地の集積・集約化するための計画を立てるワークショップをするなど、難しい内容ながらも真剣に取り組んでいました。



2日目は、志太榛原農林事務所管内（島田市）にある複数の現場を見学し、静岡県の特産品の「お茶」についての基礎知識と、「お茶」の一大産地である牧之原台地での茶園基盤整備事業などについて学びました。

また、茶園基盤整備事業を実施し、完了した地区（西原地区）の営農者の方から、当時の事業実施の大変さやお茶の生産事情などをお聞きできる場もあり、私たち農業土木技術者として一丁目一番地である、基盤整備事業の大切さを知ることができた研修でした。

今後も若手職員の育成について、農地局職員一丸となって様々な研修を企画していきます！



【ICT】石部の棚田で水田ICT技術の試行調査を行っています

県庁

棚田の保全・管理は急斜面での作業が主であり、特に水管理においては、すべての棚田に水を供給しなければならないため、見回り等に多大な労力がかかります。

しかし、地域の高齢化や耕作者の減少により負担が大きくなり、棚田の維持が難しい状態でした。

この問題を解消すべく、現在、松崎町の石部の棚田では、ICTの導入に向け水位センサーと自動給水栓の試行調査を行っています。

7月18日に、棚田におけるICT活用に係る情報共有のため、県内の棚田で活動する団体が集まり研修会を開催し、実際に使用している石部の耕作者から使用感を聞き取りました。

耕作者からは、水位センサーの設置により田んぼの見回り頻度が減少し、水管理が楽になったとの声があり、効果の発現が感じられました。



各種SNSもチェック！

Instagram



NOHARA SHIZUOKA

X



Facebook



農地局農地保全課 054-221-2714
農地計画課 054-221-2723

【基盤整備】三ヶ日滝ノ入・釣地区で 樹園地を平坦化する工事を実施しています

西部



全国的な有名ブランド「三ヶ日みかん」の産地である浜松市浜名区三ヶ日町はみかん栽培に適した日当たりと水はけのよい地域ですが、樹園地が急傾斜で営農条件が厳しく、高齢化や減少によりブランド力の維持が課題となっています。

西部農林事務所では『柑橘産地生産強化基盤整備プロジェクト』の一環として、令和3年度から三ヶ日滝ノ入・釣地区において約20haのみかん畑・山林で樹園地を拡大・平坦化する農地造成事業を実施しています。

樹園地を平坦化することでSS（薬剤噴霧機スピードスプレーヤー）の導入や担い手への農地の集積・集約化が期待されます。

令和6年度より滝ノ入工区（平山側）の土工事に着手し、7月29日に1期工事が完了しました。

今後も周辺地域の安全や営農に支障が出ないよう、密に地元調整を行いながら工事を進めていきます。

西部農林事務所湖北事業課 053-458-7231
農村計画課 053-458-7224

【研修】若手職員に対しOJT研修を行いました

東部

令和7年7月17日、農地整備課では、班長と主任が講師となり、若手職員4名を対象にOJT（On-the-job Training）研修を行いました。構造計算の基礎、鉄筋コンクリートの構造計算、現場打ちボックスカルバートの構造計算について学びました。

その後、西浦足保久料地区の現場にて、現場打ちボックスカルバートの段階確認の研修を実施しました。構造物における鉄筋の重要性、鉄筋の主筋と配力筋の見分け方、構造物の引張と鉄筋の径の関係、構造物に作用する荷重、土質条件の確認ポイントなどを学びました。

また、農業土木工事共通仕様書における段階確認箇所を、図面と現場の構造物を見比べながら確認し、共通仕様書に記載してある材料や用語を現場で学び理解を深めました。

今後も、現場監督員として必要な知識を習得するため、課として様々な研修に取り組んでいきます。



東部農林事務所農地整備課 055-9209-2175
東部農林事務所農村計画課 0055-920-2165

【一社一村】水見色地区でNEXCO中日本が
草刈りを行いました

中部



新東名高速道路沿線の山間部の振興を目的として、中日本高速道路株式会社（NEXCO中日本）は静岡県内の3箇所（沼津市浮島地区・静岡市水見色地区・浜松市都田地区）と一社一村しずおか運動で協定を締結し、農作業や植樹等の協働活動に取り組んでいます。

7月26日に、静岡市葵区の水見色地区で、地元の方に加えNEXCOの社員約30名が、今年の4月に植樹した桜の苗木周りの草刈りや苗木の支柱交換作業を行いました。

地元の方は、草刈り機を使用し、NEXCOの社員は、草刈り機では近づけない、桜の木の周りを鎌を用いて、丁寧に草刈りをしました。

中部農林事務所では、引き続き、一社一村しずおか運動の支援を行っていきます。

中部農林事務所農村計画課 054-286-9269